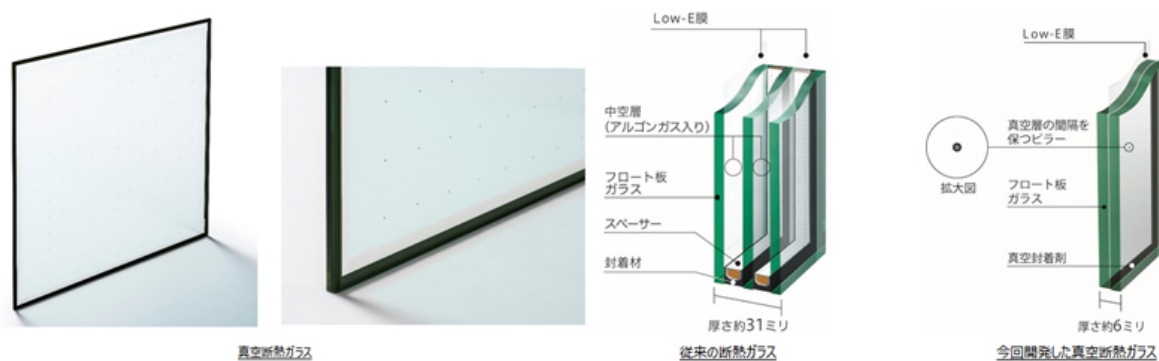


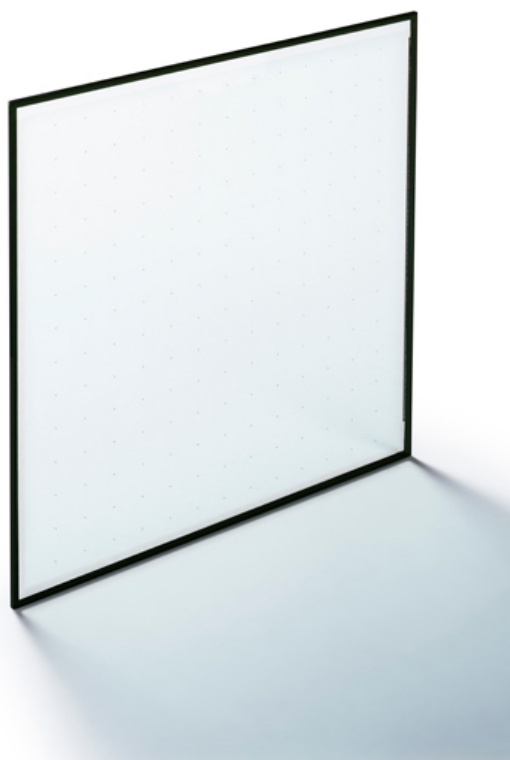
AGCとパナソニック、欧州市場向けに業界最高クラスの 「真空断熱ガラス」を共同開発



AGC株式会社（以下、AGC、本社：東京、社長：島村琢哉）とパナソニック株式会社（以下、パナソニック、本社：大阪、社長：津賀一宏）は、業界最高クラス※1の性能を持つ「真空断熱ガラス」を共同で開発し、欧州市場向けに販売することに合意しました。

AGCは同社のベルギーの工場に新たに真空断熱ガラスの生産ラインを導入し、2019年3月より欧州の住宅市場向けに販売を開始します。なお、本件に関わる投資額は約1,000万ユーロで、新規に20名を雇用する予定です。

欧州では古い住宅を改修して長く住むことが多いため、住宅窓の高断熱改修ニーズが高まっています。そこで、AGCとパナソニックは、AGCのLow-Eガラス技術・ガラスプロセス技術と、パナソニックのプラズマディスプレイパネルの開発・製造技術を応用し、欧州市場向けに「真空断熱ガラス」を共同開発することとしました。この「真空断熱ガラス」は、業界最高クラスの断熱ガラス※2と同等の性能を持ちながら、厚みが約1/4～1/5のため、ガラス改修の際に既存のサッシをそのまま使うことが可能です。



真空断熱ガラス



パナソニックは今回建設する製造ラインの速やかな立ち上げを支援し、AGCは保有する建築用ガラスのマーケット情報、販売網、製品ブランドを活用し、製品の多用途展開を目指します。

AGCとパナソニックは、両社の強みを生かして、断熱ガラスの最大市場である欧州の住環境の向上に貢献します。

なお、今後両社は冷蔵・冷凍ショーケース市場への販売も検討していきます。またAGCは日本においても、住宅を含む建築物向けに販売を予定しており、パナソニックは自社の商材や事業への展開を図っていきます。

—注釈—

※1 総厚約6ミリの真空断熱ガラス単体の熱貫流率として0.7 W/(m²·K)。2018年10月15日現在、AGC調べ。

※2 3層構造のLow-E複層ガラス(中空層にアルゴンガス使用)

【お問い合わせ】

【AGC株式会社】

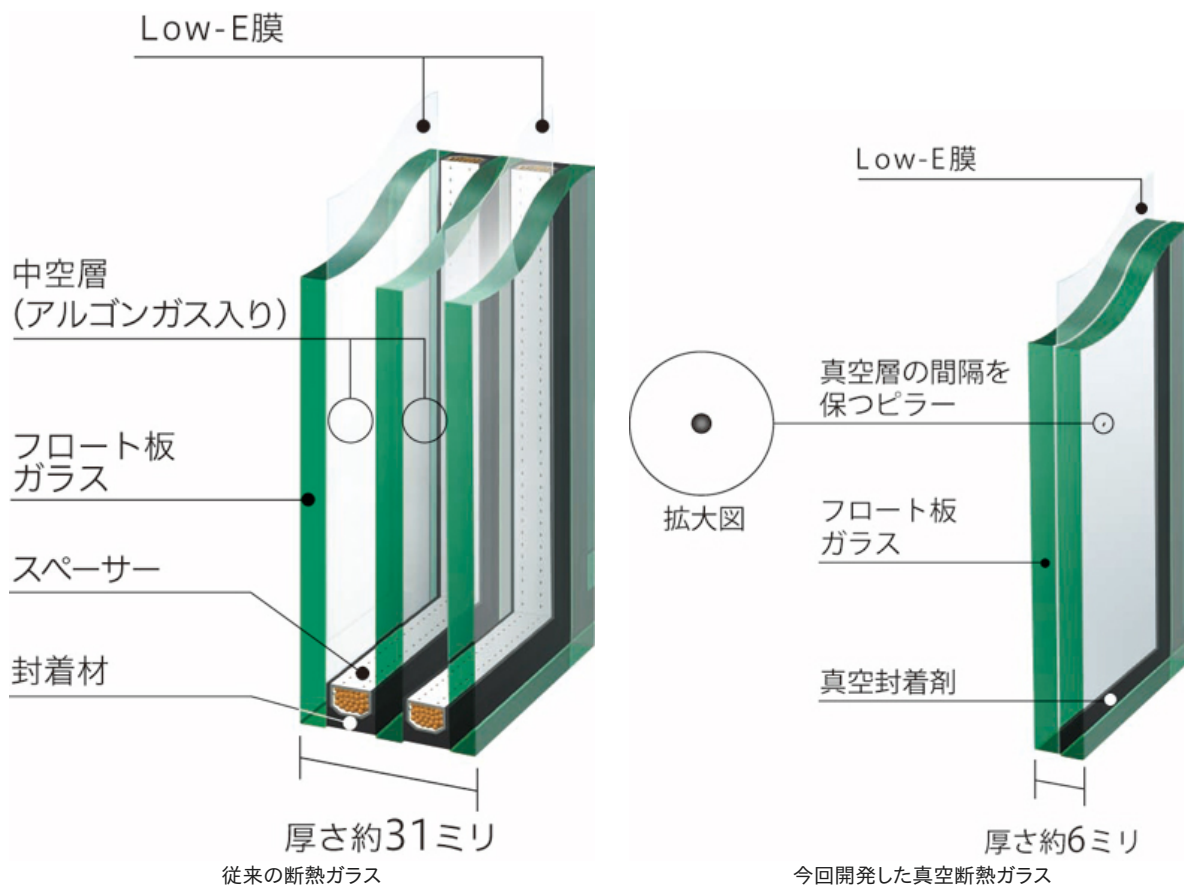
ビルディング・産業ガラスカンパニー カスタマーセンター 電話:0570-001-555(9:00~12:00、13:00~17:00)

【パナソニック株式会社】

エコソリューションズ社 ハウジングシステム事業部 建築システムビジネスユニット 新材事業推進部 電話:06-6908-1131(代表 9:00~17:30)

—ご参考—

■比較イメージ



■両社について

AGCは、優れたガラスプロセス技術で高品質なガラス製品をグローバルな製造・販売拠点から安定供給し、建築用ガラスの世界市場でトップレベルのシェアを有しています。世界各地の多様な気候に対応する幅広い省エネガラスラインナップを今回販売開始する真空断熱ガラスに活用し、更なる環境負荷低減や快適性向上を実現します。

パナソニックは、従来保有していたプラズマディスプレイパネルの開発・製造技術を応用することで、約6ミリの薄さで業界最高クラスの断熱性能を有する真空断熱ガラスの開発および量産化を2017年12月に成功。総厚約3 cmのアルゴンガス入りトリプルガラスと同等以上の断熱性能で、現在住宅で一般的に使われている複層ガラスの約2倍の断熱性能を持ちます。既に、パナソニックの完全子会社の冷凍・冷蔵ショーケースメーカー「ハスマン社」のコンビニ・スーパー向け屋内用自動ドアのガラスとして先行納入しています。

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。